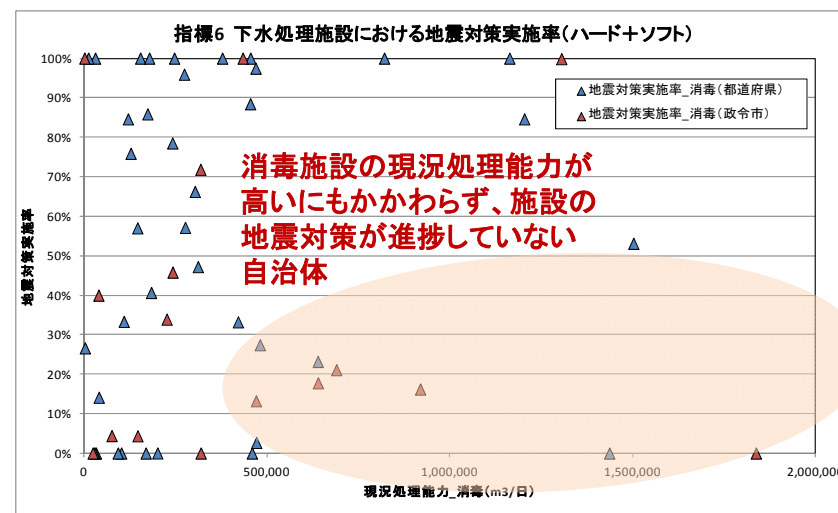
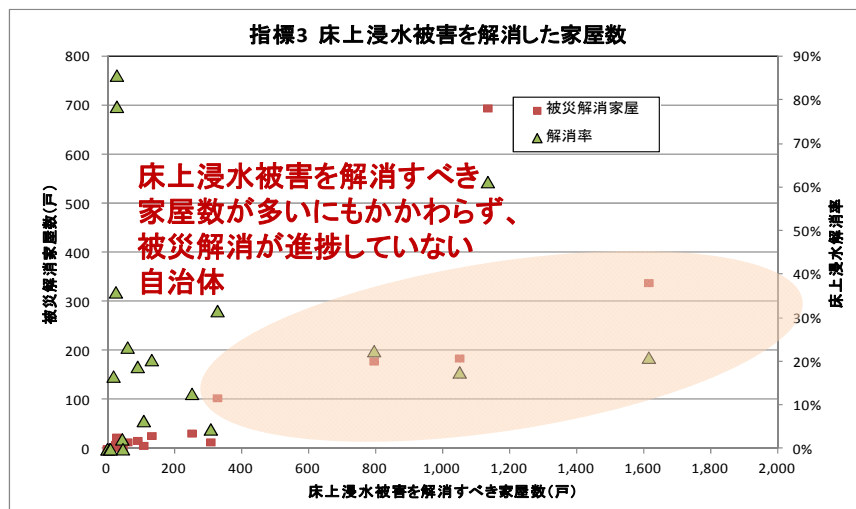


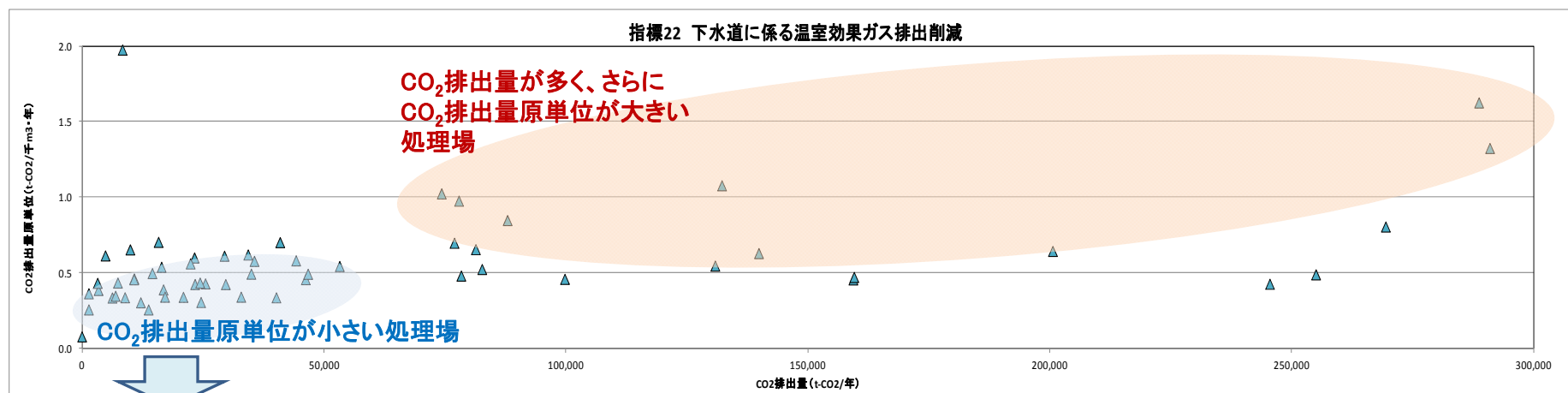
施策への活用イメージ

施策への活用イメージ①

- 必要整備量や進捗率等を評価軸として、特に対応が急がれる箇所・属性等を抽出することができるのではないか。
- さらに、対応が遅れている要因を具体的に分析し、必要な施策(具体的な処方箋)を立案・実施することが必要となる。



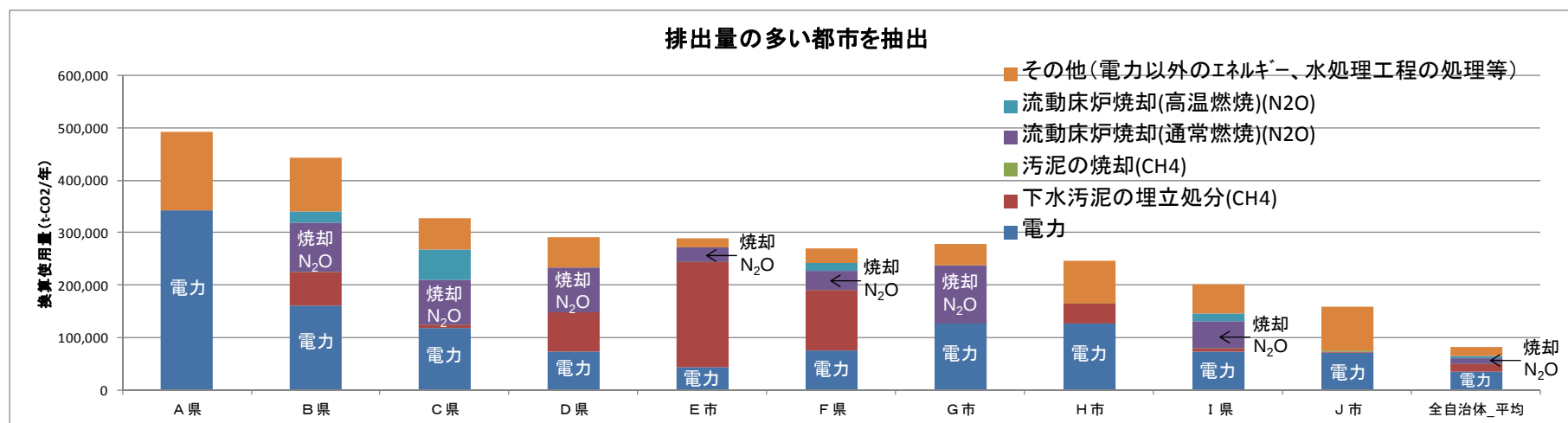
施策への活用イメージ②



好事例の水平展開

その要因を把握し、他自治体への有効な処方箋となる場合には、全国もしくは同じ課題を抱える自治体への水平展開を図る。

さらに排出源を分析



具体的な処方箋の検討

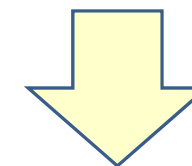
- ・電力CO₂と通常焼却N₂Oが主な排出源と特定
- ・具体的な処方箋(技術開発実施や新技術の導入促進策)を検討

施策への活用イメージ③

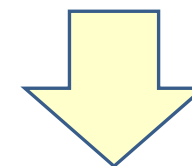
内水HM 充実度

	A市	B市	C市
① 住民等が参画し内水HMを策定した	○	○	○
② 住民自らの判断で避難を開始するための行動指南情報等を掲載した	○	○	×
③ 避難に必要な情報の入手先、避難場所、避難に係る危険箇所を掲載した	○	×	×
④ 災害時要援護者に配慮した内容となっている	○	○	×
⑤ 被害想定と重ね合わせるなど、他のHMとの一覧性に配慮した調整を行っている	○	×	○
⑥ 地域防災計画の内容を内水HMに反映している	○	○	×
⑦ その他（ ）により、内水HMの充実に資する内容となっている	○	○	○

A市が好事例の可能性



A市の内水HMの内容や実際の活用状況、策定プロセスを把握



他自治体への有効な処方箋となる場合には、全国もしくは同じ課題を抱える自治体への水平展開を図る

内水HM 活用度

⑧ 全戸配布やインターネット等での公表を行っている	○	○	×
⑨ 防災訓練、学校教育、住民説明会・出前講座を行った	○	○	○
⑩ 内水HMの内容を地域防災計画に反映している	○	○	×
⑪ HMの点検、見直しを実施しているもしくは見直しルールがある	○	×	×
⑫ その他（ ）により、内水HMの活用に資する内容となっている	○	○	○